

平成30年度第3回旭川市スポーツ推進審議会での意見一覧
 (施策の視点・条例内容(案)で反映するポイント)

番号	項目	意見要旨
1	施策の視点について	冬季スポーツにこだわりすぎるより夏も冬も生かせるということが大事。
2	施策の視点について	冬季のスポーツにこだわらず「豊かな自然環境」などとしてまとめられる項目もある。
3	施策の視点について	北海道は、冬の運動が他地域に比べて少ないので、旭川ではどのようにスポーツを行うのかということが課題。
4	施策の視点について	冬場に外遊びをできるような場所を提供したい。駅前のリンクのような場所を充実させることで、旭川市のPRや観光にもつながる。
5	施策の視点について	スキー場に外国人観光客を取り込むには、宿泊施設や温泉が必要なのではないか。
6	施策の視点について	市民のための条例であるから、「スポーツと健康」や「生涯スポーツ」、「地域のスポーツ活動」、「子どものスポーツ振興」などに絞られる。旭川市の特性を活かした冬季スポーツに取り組むことは1番難しい。一番莫大なお金がかかる。市民目線での条例にしないと難しい。
7	施策の視点について	子どもについては、一番大事な外せない視点。ビジネスマンにこだわらない方がよい。
8	施策の視点について	学校側からすると学校運動部活動の促進の主語は学校である。市には、学校の部活動の充実を支える体制を整備をしていただきたい。
9	施策の視点について	学校のクラブ活動を促進するということではなく、外部からの指導者を派遣するなどの支援をする。学校の先生を支援するというのであれば、学校も受け入れる。
10	施策の視点について	スポーツを行って自分の体の状態を知ることが健康寿命を延ばすことにつながる、健康づくりという視点は外せない。
11	施策の視点について	スポーツと健康という文言がなかった。 緑が丘地域では、旭川医大と連携して健康測定の様なことを行っている団体もある。
12	施策の視点について	地域の幅広い年代の方が気軽に出来るスポーツが広まれば旭川市のスポーツ振興になる。みんなが楽しめるスポーツが地域に根差していける仕掛けがあると良いと思う。
13	施策の視点について	総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団について一般に周知されていないので、情報発信を行っていく必要がある。
14	施策の視点について	競技スポーツについては、所属している総合地域型地域スポーツクラブがあり地域に根差したクラブである。中学校の部活などと繋げて地域の活性化に役立てることもできる。
15	施策の視点について	競技スポーツに触れていないのはなぜか。競技スポーツの視点も必要。

平成30年度第3回旭川市スポーツ推進審議会での意見一覧
(施策の視点・条例内容(案)で反映するポイント)

番号	項目	意見要旨
16	施策の視点について	ニセコスキー連盟にいた当時、外国人観光客は少数であったが、誰かが情報発信後、観光客が増加した。スキー場独自でなく何かと連携し価値あるものにしていきたい。
17	施策の視点について	重要なのは、事業者がどう連携するか。連携がなされないのであれば、お互いミーティングする組織をつくらなくてはならない。
18	施策の視点について	スポーツは、競技スポーツに目を向けがちだが、レジャーやレクリエーションの視点もある。遊びや、レクリエーションなどの言葉としてスポーツを概念規定していく。
19	反映するポイント	地域の活性化が重要と考える。地域のスポーツを通じた地域づくり、地域の活性化の方へ向かっていきたいと考える。
20	反映するポイント	スポーツツーリズムという言葉が盛んに叫ばれているので、外から来た人が楽しめる屋外のスポーツに力を入れるのがこれからの時代に必要な視点である。
21	反映するポイント	市民だけではなく、旭川市の環境を活かして街自体が活性化していく何かを見つけていきたい。
22	反映するポイント	旭川には、豊かな自然環境があるが、人口減少に歯止めはかけられないので、観光との連携がより必要になってくる。外国人に合わせた対応も今後考えていく必要があるのではないかと。りんご、さくらんぼなどの資源を行かせると良いのではないかと。
23	反映するポイント	旭川市の子どもの減少、少子化が進んでいることがわかる。子ども達がどんなに運動能力の差があっても、スポーツを積極的に楽しめるような、参加できるような環境を造って欲しい。
24	反映するポイント	未就学児のスポーツ活動について現状全く調査されていない状況。子どもへのスポーツ振興は2歳から4歳が一番重要。連携を図るため子どもの捉え方をより広く捉えるべき。条例の中でも様々な課と連携することをしっかりと入れるべき。
25	反映するポイント	将来への投資だと思って少年団の体育館使用料無償化などを試してみてもどうか。
26	反映するポイント	スポーツという一部門があるというよりは、福祉部局、産業、観光、市民活動も含めた形で市内部の連携を強化する必要がある。
27	反映するポイント	市がスポーツに取り組むのであれば、現在協会などに依頼している業務等について積極的に係わっていく必要がある。条例に支援、促進などの文言も盛り込むべきであり、市が積極的に参加願う。
28	条例について	条例を制定するとき、例えば市の特性と取り組む方や、関係する団体を定義し関係する団体、事業者などがどのように協議、協力を行うかなどきちんと明文化できればよいと考えている。
29	条例について	競技スポーツや大衆スポーツと言われているが、きちんとスポーツの概念を規定するという意味での条例の在り方もある。